

8. さまざまな熱中症対策の取組事例

事例2. 愛媛県宇和島市 避難所・自宅避難者への訪問

●平成30(2018)年7月に発生した豪雨災害時の**避難所への避難者**及び**自宅避難者**を保健師や栄養士が訪問、熱中症対策を行った。

<避難所での取組み>

熱中症予防のポスター掲示やリーフレット配布等で注意喚起を行うだけではなく、熱中症リスクの高い人の把握、エアコンの使用、飲料水の確保等、関係機関と連携して環境整備や支援物資の提供を実施した。

<自宅避難者への取組み>

上記の取組のほか、特に乳幼児や高齢者がいる家庭についてはエアコンの使用状況等の家庭内の環境確認も実施した。



宇和島市「平成30年7月豪雨 宇和島市災害記録誌」

<https://www.city.uwajima.ehime.jp/site/gou201807/h30gouu-saigaikirokushi.html>

■ 苦労した点

- ・エアコンの有無や断水の継続等、各避難所に応じた支援が求められた。
- ・個人の努力では解決できないものもあり、避難所に係る関係者との十分な連携が必要だった。

■ 工夫した点

- ・避難所への巡回を輪番で従事することとしたため、様式を統一し、引継ぎが円滑に行えるようにした。また特にリスクの高い方などは個別の引継ぎを行った。
- ・昼間は不在者が多かったため、受援の看護師を活用し、夕方から夜間の対応を依頼した。